



わくわく

2017年1月号

第117号

だよ!



今年も新しい年が始まりました。年末年始は例年より暖かかったですが、この頃は各地で大雪の知らせもあり、だいぶ寒いんですね。皆さん体調には十分お気をつけ下さい。

さて、新年を迎え、気持ちも新たに今年の目標を立てるのも多いのではないのでしょうか。私もほとんど目標を立てました。〇気持ちの面で既に達成できそうな要因気もありますが、一応発表しようかと思ひます。2つありまして、1つ目はパン作りをマスターすること。前々からやってみてはいいと思ひてはながら、結局出来ずじまいだったので、今年は挑戦してみたいと思ひます。2つ目は毎年の目標になってきましたが、やっぱりダイエットですね。何とか好きな服が着れるくらいまでには痩せたいです。特に今年は同窓会もあるので、必ず達成しなければ...。

こんは臈合で、今年も頑張っていこうと思ひます。



ひとメモ

「酉年の特徴」

十二支や干支の考え方では、酉のつく年は商売繁盛に繋がると考えられているようです。酉（トリ）は「取り込む」に繋がるといわれ、そこから運氣もお客も取り込めるというものです。また、酉の由来に「果実が極限まで熟した状態」というものがあり、そこから物事が頂点まで極まった状態が、酉年だと言われています。今年は、習い事などで結果が得られたり、学問や商売などで成果が得られるかもしれませんね。



ひとくちメモ



中古購入40歳未満、住宅改修最大65万円補助

国土交通省は、中古住宅を購入し、省エネや耐震改修などのリフォーム工事を行った人に、最大で65万円を補助する新たな制度を作り、2月にも申請の受付を始めます。

補助対象を40歳未満に絞り、子育て世帯など若年層の住宅取得を後押しする目的です。中古住宅やリフォーム市場を活性化させ、空き家の増加に歯止めをかける狙いもあります。

対象となるのは、中古住宅を購入した40歳未満の人で、専門家に建物の劣化状況などを検査してもらう「インスペクション（住宅診断）」を受けることなどが条件になります。住宅診断と省エネリフォームにかかる費用について最大で50万円を補助し、耐震改修を行う場合はさらに15万円が上乗せされます。補助金は宅建業者などが住宅購入者に代わって国に申請し、購入代金から補助額を差し引く仕組みになっています。同省は1万戸以上の利用を見込んでいます。

◆ホームインスペクション

既存住宅を建築士などの専門家が住宅の劣化状況について調査を行い欠陥の有無や補修すべき箇所、その時期などを客観的に診断するというものです。費用は目視による標準的な診断で5～8万円程度が一般的です。



無料進呈中

知らないと損をする！

『誰も教えてくれない不動産の賢い購入法』

～不動産取引って、分からない事が多すぎませんか？～

この度、土地・中古住宅の購入における基本的な流れや、不動産取引のいろいろな事について一冊の本にまとめてみました。これを読めば不動産取引の基本的な流れが良くお分かり頂けると思います。この小冊子をご希望の方は小島北店までご連絡下さい。ニヤンとなく お家探しはサービス1番の当社へ

引越 住宅ローン 税金 自己資金 資金計画



TEL 0246 (27) 0331